

2017年第3期12課 聖霊によって生きる 9月16日

A 聖霊の導きによって歩む ガラテヤ 5:16, 18

- ❖ 聖書では神様の道を「歩く」とはどういうことだろうか。(申命記 13: 4-5; ローマ 13: 13; コロサイ 1: 10)
- ❖ 聖書には神様のみこころが説明されているので、私たちはそのように「歩く」ことができる。それには、私たちが神様の望まれるような生活をする助けとなる十戒や他の掟を守ることが含まれている。
- ❖ しかしながら、救われるためにこれらの掟を守ることが神様の道ではない。神様がすでに私たちのためにしてくださったことこそ、私たちを救う唯一の道である。

B クリスマンの戦い ガラテヤ 5:17

- ❖ イエス様の犠牲を受け入れる時、私たちは新しい性質をいただく。この霊的性質は「肉」の性質と相反する(ローマ 7:14-25)。
- ❖ 私たちは聖霊に従うことを選び、日々イエス様の力強いみ手にすがらなければならない。

C 肉の働き ガラテヤ 5:19-21

- ❖ パウロは肉によって生きることと、霊によって生きingことを比較している。この二つには重要な違いがある。
 - まず「行い」について、次に「実」について。
 - (1) 肉は私たちの罪を要求し、私たちが罪を犯すように強制する。
 - (2) 霊は私たちの中に清い行いを実らせる。
 - (3) 「行い」は複数形になっているが、「実」は単数形である。
 - (4) 罪の性質は分断、混乱、不調和をもたらす。
- ❖ 霊の性質は調和を奨励する。
- ❖ 罪は人間関係を壊し、苦痛をもたらす。霊は人間関係を回復し、永遠の命をもたらす。

D 聖霊の結ぶ実 ガラテヤ 5:22-23

- ❖ みたまの実の第一は愛であり、その他全ての徳は愛から派生する。
- ❖ 愛は十戒を要約する徳である。(マタイ 22:35-40)

E 愛は人間の罪の性質と相反する。それゆえ愛こそ、神様に従う人たちの記章なのである。

F 勝利への道 ガラテヤ 5:24-26

- ❖ ガラテヤ 5:16-26 に於いて、パウロは私たちがどのように聖霊に導かれるかを説明するのに5つの動詞を用いている。
 - 歩く [peripateō] (16 節): 私たちはイエス様と共に歩み、共に生きなければならない。
 - 導く (18 節): 私たちは霊に導かれ、どこに行くべきか、何をすべきかを示してもらわなければならない。
 - 十字架につけ (24 節): 私たちは肉の性質を殺し、霊の性質を育てなければならない。
 - 生きる (25 節): 私たちは日々生まれ変わらなければならない。
 - 進む [stoicheō] (25 節): 私たちは聖霊の足跡に従い、聖霊に私たちの生活を導いていただくなければならない。